

令和2年度「京丹後市いじめ調査（2回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施児童3名は、長期欠席生徒である。

【内訳】小4:1名、小5:2名

(2) 家庭訪問での調査の23名は、長期欠席生徒である。

【内訳】小5:1名、中1:5名、中2:10名、中3:7名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2416	1344
調査児童生徒数(人)	2413	1344
内家庭訪問での調査(人)	1	22
未調査児童生徒数(人)	3	0
実施率	99.9%	100%

2 認知と解消について

(1) 認知件数と内訳

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	72	34	21	30	14	14	185	6	7	1	14		
	女子	52	33	24	32	14	10	165	4	8	2	14		
	合計	124	67	45	62	28	24	350	10	15	3	28	8,458	767
未解消	A要指導	3	6	7	5	2	7	30 (8.6%)	2	0	2	4 (14%)	1,049	109
	B要支援	6	0	1	6	4	0	17 (4.9%)	1	0	0	1 (4%)	1,087	133
	C見守り	115	59	37	51	22	17	301 (86%)	6	13	1	20 (71%)	6,069	490
解消	0	2	0	0	0	0	2		1	2	0	3	253	35

A: 行為止んでおらず被害者の苦痛あり

B: 行為止んでいるが苦痛あり

C: 行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市すべての小・中学校で、いじめを認知している。

イ 認知件数は小学校350件（1回目調査 -8件）中学校28件（1回目調査 -14件）

ウ 要指導・要支援件数の比較

	小学校			中学校		
	R1 2回目	R2 1回目	R2 2回目	R1 2回目	R2 1回目	R2 2回目
認知件数	420	358	350	39	34	28
要指導	85 (20%)	16 (4.5%)	30 (8.6%)	10 (26%)	0	4 (14%)
要支援	19 (4.5%)	12 (3.3%)	17 (4.9%)	5 (13%)	3 (8.8%)	1 (4%)

(2) 認知率

	回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	府小学校	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	府中学校
30年度	1	24.4%	29.9%	21.1%	20.2%	13.0%	5.9%	18.6%	20.4%	5.0%	3.5%	0.8%	3.0%	4.3%
	2	28.8%	29.1%	22.6%	18.7%	11.2%	7.9%	19.1%	17.5%	3.9%	3.9%	0.8%	2.8%	3.1%
	3	17.2%	27.8%	17.8%	12.4%	5.8%	5.5%	13.9%	△	2.2%	0.6%	0.2%	1.0%	△
元年度	1	18.7%	18.1%	28.0%	20.2%	13.3%	7.0%	17.2%	18.6%	4.0%	3.9%	1.5%	3.1%	4.0%
	2	26.3%	16.4%	26.5%	17.8%	12.0%	5.9%	17.0%	16.3%	4.5%	1.7%	2.4%	2.9%	3.2%
	3	25.5%	10.9%	21.2%	12.2%	9.0%	1.8%	13.0%	△	4.7%	0.6%	1.1%	2.1%	△
2年度 (件数)	1	26.6%	17.0%	11.1%	20.1%	10.9%	5.7%	14.9%	13.5%	3.9%	2.5%	1.3%	2.5%	2.5%
	2	31.8%	16.9%	11.5%	16.8%	6.8%	5.3%	14.5%	14.4%	2.3%	3.4%	0.6%	2.1%	2.6%

ア 小学校・中学校とも、1回目調査より認知率が下がっている。

イ 2回目調査の認知率を3年間で比較すると、最も低くなっている。特に、小学校では年々認知率が下がっている。

ウ 小学1年、小学3年と中学2年において、1回目調査の認知率を上回っている。

エ 小学校の認知率(14.5%)は、府(14.4%)よりわずかに高く、中学校の認知率(2.1%)は府(2.6%)よりやや低い状況にある。

(3) 1回目の追跡調査結果について

R2年度1回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	合計
認知件数	103	67	43	74	45	26	358	17	11	6	34

【追跡調査の結果】

解消件数 (解消率)	103 (100%)	63 (94%)	41 (95%)	68 (92%)	42 (93%)	19 (73%)	336 (94%)	16 (94%)	10 (91%)	3 (50%)	29 (85%)
未 解 消	A 要指導	0	1	0	0	3	4	0	0	1	1
	B 要支援	0	0	0	2	1	4	0	0	1	1
	C 見守り	0	3	2	4	2	14	1	1	1	3

- ア 1回目調査で認知したいじめについては、小学校で約94%、中学校で85%が解消している。
- イ 「A要指導」は、小学校4件、中学校1件であり、昨年度の同時期と同様の結果である。
- ウ 「B要支援」は小学校4件・中学校1件、「C見守り」は、小学校14件・中学校3件である。
- エ すべての事象について、事象の聞き取りに終わるのではなく、児童生徒の困っている状況に応じた指導と、児童生徒の気持ちが納得するまで、支援・見守りを継続することが重要と考えている。

(3) 態様の状況について

いじめの態様(複数回答)	小学校					中学校				
	京丹後市				京都府	京丹後市				京都府
	1回目		2回目		2回目	1回目		2回目		2回目
	人数	割合	人数	割合	割合	人数	割合	人数	割合	割合
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	218	45.2%	199	39.1%	39.0%	23	53.4%	24	75%	53.5%
仲間はずれ、集団による無視をされる。	57	11.9%	60	11.7%	12.6%	4	9.3%	0	0%	7.8%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	100	20.8%	95	18.7%	18.5%	4	9.3%	1	3.1%	14.2%
ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	44	9.1%	59	11.6%	8.4%	4	9.3%	1	3.1%	5.8%
金品をたかられる。	11	2.3%	12	2.4%	2.1%	0	0%	0	0%	0.6%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	17	3.5%	19	3.7%	3.9%	2	4.7%	0	0%	2.8%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	30	6.2%	57	11.2%	8.4%	2	4.7%	2	6.3%	6.0%
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	3	0.6%	3	0.6%	1.6%	4	9.3%	2	6.3%	4.2%
その他	2	0.4%	5	1.0%	5.5%	0	0.0%	2	6.3%	5.1%
合計	482		509			43		32		

- ア 1回目調査と比較したところ、小学校で+27件、中学校で-11件であった。
- イ 小学校では、全体の認知件数は減少しているが、態様件数は増加し、様々にわたっている。
- ウ 小中学校とも「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多い。
- エ 小学校は、ほぼ京都府と同様の傾向がみられるが、「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」の項目が、京都府より多くなっている。
- オ 「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の内容については、オンラインゲームや無料通話・モバイルメッセージアプリでのトラブルが小中学校ともあげられている。
- カ 「その他」の内容は、個人での無視、コミュニケーションや対人関係の不安定さをあげている。

(5) いじめの「重大事態」について

2回目調査、および本日まで「重大事態」の認知及び発生はない。